

第一幕… 奇想天外な新商品発案

(約15分)

場面… 汐製菓オフィス

(冒頭シーンは先述の内容と同様ですが、ここではさらに汐と社員たちの議論を深掘りします)

社員 A

社長、この案… ネットで炎上しませんかね？

汐

(肩をすくめて)

炎上も注目のうちだ。むしろ歓迎するよ。

社員 B

それにしても、納豆ですよ？ 外国人は特に苦手な人が多いって聞きますけど…。

汐

(にやり)

だから面白いんだろう？挑戦しなきゃ新しい市場なんて開けない。

塩田

（諦めたように）

毎回のことですけど、社長のこの楽観主義には勝てないですね。

汐

（爽やかに）

だからこそ君たちは私について来てるんだろ
う？大丈夫、成功する未来しか見えてない！

全員が困惑した笑みを浮かべつつ、シーンは次へ。

第2幕：国内試食イベントのドタバタ（約20分）

場面：地元商店街イベント会場

汐製菓の試食ブースを訪れる人々。最初は冷ややかな反応。

主婦 A

（試食を眺めながら）

納豆とワサビの水羊羹？いやだわ、絶対おいしくないでしょ。

汐

（笑顔で）

試してみなければわかりませんよ。人生もスイーツも冒険です！

主婦 A

（渋々一口食べる）

…うわっ、なんだこれ！？でも、後からくるこの旨味は…意外とクセになるかも？

隣にいた主婦 B が興味を示し、続けて試食。

主婦 B

（驚きの表情）

甘さと辛さが絶妙…これ、家族に持って帰りたいわ！

次第に列ができ始め、話題が広がる。

場面② ライバル会社との衝突

地元の商店街にて、汐製菓のブースとライバル製菓会社が並ぶ。ライバル社長・甘味田が挑発的に話しかける。

甘味田

（皮肉交じりに）

汐君、ずいぶんと変わった商品を出してるじゃないか。納豆とワサビなんて…ウチなら絶対やらないね。

汐

（余裕の笑みで）

甘味田さん、挑戦しない企業に未来はないんですよ。

甘味田

（鼻で笑い）

その挑戦が失敗に終わるってのもよくある話だよ。

塩田

（不安そうに小声で）

社長、あまり煽らない方が…。

汐

（小声で）

大丈夫、彼らも次の挑戦を考え始めるはずだ。

第3幕…世界市場への挑戦（約25分）

場面…台湾 ナイトマーケット

（先述の内容に加え、台湾の食文化を掘り下げ、地元の食通たちと議論を繰り広げる。）

汐

(地元の食通に向けて)

台湾も臭豆腐があるじゃないですか！最初は匂いに驚くけれど、食べれば美味しい。それと同じです。

食通 A

(試食して頷きながら)

なるほど、これは…納豆の香りと甘みのバランスが絶妙だ。確かに、日本の新たな一面を感じるな。

場面 B: フランス パリの高級菓子店

(ジャンのシーンをさらに掘り下げ、試食を通じて観客を納得させるプロセスを描写)

ジャン

(試食後、考え込むように)

これはただ奇抜なだけではない。この辛さが、

フランスのデザートの甘さと新しい調和を見せる…。

観客たちが続々と試食し、驚きと感嘆の声を上げる。

場面⑤：ニューヨークフードトラックフェスティバル

（よりコミカルなやり取りを追加し、ニューヨークー
カーたちの辛辣なコメントと試食後の反応で
笑いを誘う。）

若い男性客

納豆？オーマイガー。これはアジアの罰ゲームか？

汐

（自信満々で）

一口食べてみてください。それで判断を。

若い男性客が試食し、瞬間に顔をしかめるが

：

若い男性客

…これ、クセになるじゃん！？どこで買えるんだ？

第4幕…爆発的ヒットと新たな危機（約20分）

場面…汐製菓本社の混乱

電話が鳴り止まない。社員たちが走り回る中、汐が指示を飛ばす。

塩田

（焦りながら）

社長！台湾、フランス、ニューヨークから追加注文が止まりません！倉庫が空っぽです！

汐

(ニヤリ)

いいじゃないか、需要が供給を超える瞬間こそ、企業の真骨頂だ！

社員 A

(叫びながら)

社長、取引先から納豆とワサビの供給が間に合わないって連絡が！

社員 B

どうします？このままじゃ海外の信頼も失いますよ！

汐

(真剣な顔で)

全国の農家と話をつける。日本全土で協力してもらおうぞ！

エピソード：次なる挑戦と予想外

の展開

場面…汐製菓本社の大盛況

テレビ局の取材を受ける汐と塩田。社員たちが忙しく動き回る中、テレビカメラが社内の様子を映す。

司会者

いやー、納豆とワサビの水羊羹、大ヒットですね！次の目標は？

汐

(にっこり)

世界中のスイーツ業界に革命を起こすことです。そして次は、「味噌キャラメルプリン」です。さらなる驚きを提供します！

司会者

素晴らしい！では、これからも日本のお菓子界を引っ張って行ってください！

塩田

(小声で汐に)

本当に次も無茶な商品ですね…。

汐

(ウインクしながら)

それが我々のスタイルだ。

場面② 甘味田製菓本社

甘味田が自社のオフィスでテレビを見ている。

納豆水羊羹が世界でヒットしているニュースが

流れ、顔を真っ赤にして悔しがる。

甘味田

(テレビに向かって)

何でだ！？あんな奇抜な商品がなぜ成功す

るんだ！うちの「抹茶どら焼きプレミアム」は

全然話題にならないのに…！

部下 A

(おそろおそろ)

社長：…もしかして、私たちもちよつと冒険してみてもいいんじゃないでしょうか…。

甘味田

(ため息をついて)

ふん、今さら納豆羊羹の二番煎じなんて…。
いや、待てよ…。

場面 ③ 汐と甘味田の直接対話

数日後、甘味田が汐製菓を訪れる。対立構図だった二人がテーブルを挟んで話し合う。

甘味田

(険しい顔で)

汐、お前のことは正直認めたくなかったが、あの羊羹の成功には驚かされたよ。

汐

(柔らかな笑顔で)

おや、珍しいですね。甘味田さんが私を褒めるなんて。

甘味田

(少し悔しそうに)

正直に言くと、次の「味噌キャラメルプリン」も気になってる。だが、これ以上独り勝ちさせるわけにはいかない。

汐

(興味深げに)

じゃあ、一緒にやりませんか？

甘味田

(驚きつつも興味を引かれて)

何だと？

汐

甘味田製菓の技術力と汐製菓の奇想天外

な発想が組み合わせれば、きっと新たなスイーツ革命を起こせますよ。

甘味田

(少し考えてから)

ふむ…悪い話ではないな。ただし条件がある。

汐

(にやり)

面白くなりそうだ。条件、聞きましょう。

場面 ♪ 汐・甘味田連合の新商品発表会

汐製菓と甘味田製菓が共同開発した新商

品「抹茶トリュフ水羊羹」の発表会が行われ

る。報道陣が詰めかけ、華やかな雰囲気。

司会者

本日は、日本を代表する二大製菓企業の歴史的なコラボレーションによる新商品の発表です！

汐

(満面の笑みで)

奇抜な発想と伝統的な技術の融合、それがこの「抹茶トリュフ水羊羹」です！

甘味田

(堂々と)

我々の技術が、この商品に新たな深みを与えています。納豆とワサビに続く新たな旋風を期待してください！

観客から拍手喝采。試食をした人々がSNSで絶賛コメントを投稿し、再び大バズリの予感。

場面⑤：社内の喜びと次なる挑戦

オフィスで再び電話が鳴り止まない。社員たちが忙しく働く中、汐と塩田が満足げに状況を見守る。

塩田

(感慨深げに)

社長、次々と挑戦が成功していきますね。でも、甘味田さんとの提携は正直予想外でした。

汐

(微笑みながら)

面白いことをするためには、時にはライバルと手を組むのも必要だよ。そして、次はもっとすごいことをやるぞ。

塩田

(ため息をつきつつ笑顔で)

もう慣れました。でも、胃薬だけは常備しておきますね。

ラストシーン…汐の未来宣言

汐がオフィスの窓から遠くを見つめ、未来を語るように。

汐

（独り言で）

世界はまだまだ広い。そして、まだ見ぬ味がそこにはある。よし、次は…「ピリ辛抹茶モンブラン」だ！

塩田

（後ろから呆れ顔で）

また大騒ぎになる未来が見えます…。

二人が笑い合いながら、画面は徐々にフェードアウト。

全体の尺割（約80分）

第一幕… 奇想天外な新商品発案（約15分）

内容

- ・ 汐製菓のオフィスでの新商品発案
- ・ 社員たちとのやり取り（軽いコメディ要素を交えつつ）
- ・ 汐が納豆とワサビの水羊羹を提案し、周囲が困惑する
- ・ 塩田の心配、社員の反応、汐の楽観的な態度

目安の尺

- ・ 冒頭シーン（汐の発案）…約8分
- ・ 社内の議論と反応…約1分

第2幕…国内試食イベントのドタバタ（約20分）

内容

- ・ 地元商店街の試食イベント

- 消費者の反応…驚き、戸惑い、次第に好意的な反応に変わる
- ライバル会社（甘味田製菓）との対立シーン
- 主婦たちや地元客のリアクション、商品に対する戸惑いから受け入れへ

目安の尺

- 試食イベントの開始と反応…約12分
- 甘味田との衝突シーン…約8分

第3幕…世界市場への挑戦（約25分）

内容

- 海外市場（台湾、フランス、ニューヨーク）での試食会と反応
- 各国の消費者と試食のやり取り（コメ
ダイ要素を強化）

- ・台湾の食通、フランスの高級菓子店、ニューヨークのフードフェスでの挑戦とその反応
- ・各国での成功と予想外の反響

目安の尺

- ・台湾試食イベント…約8分
- ・フランス試食イベント…約8分
- ・ニューヨーク試食イベント…約6分

第4幕…爆発的ヒットと新たな危機（約15分）

内容

- ・汐製菓本社での混乱…大ヒットで注文が殺到、社内の対応
- ・供給問題、追加生産体制の確立、急なスケジュール変更

- ・ 新商品の人気を受け、社内が忙しく回るシーン
- ・ 甘味田とのコラボ提案が話し合われ、和解と提携決定

目安の尺

- ・ 社内混乱と対応シーン…約10分
- ・ 甘味田との提携決定シーン…約5分

エピソード…次なる挑戦と予想外の展開 (約5分)

内容

- ・ 汐と塩田の会話、次なる商品発表（新商品発表会）
- ・ 甘味田とのコラボレーションによる新商品発表
- ・ 社内の喜びと次なる挑戦の予告

- ・ 汐の未来に対する期待感を示すシーン
(次の商品についての暗示)

目安の尺

- ・ 新商品発表と喜びのシーン…約 9 分
- ・ 次の商品計画の予告と未来に向けた決意…約 2 分

全体の尺割まとめ

- ・ 第 1 幕 : 15 分
- ・ 第 2 幕 : 20 分
- ・ 第 3 幕 : 25 分
- ・ 第 4 幕 : 15 分
- ・ エピローグ : 5 分